

中京大学大学院

人文社会科学研究科 日本語日本文学専攻

修士課程

一般選抜

**【専門科目】**

日本語学基礎・中古（志望専門分野）・上代（志望専門分野以外）

試験時間120分(10:00～12:00)

《受験上の注意事項》

一般注意

- ① 受験票は、机の通路側に置いてください。
- ② 指示があるまで問題を開かないでください。
- ③ すべての解答用紙に、受験番号と氏名を正しく記入してください。
- ④ 解答は、必ず解答用紙に記入してください（問題用紙に記入しても採点されません）。
- ⑤ 問題文中に特に指示がない場合は、日本語で解答してください。
- ⑥ 試験中は監督者の指示に従ってください。
- ⑦ 試験中、質問等がある場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- ⑧ 試験終了の指示があったら、ただちに解答用紙への記入をやめてください。
- ⑨ 配付した試験問題は、すべて回収します。

問題について

- ① 問題用紙は本紙を含め全4枚あります。開始の合図があったら、まずすべての枚数がそろっているかを確認し、乱丁・落丁がある場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- ② 解答用紙は【日本語学基礎】用、【中古（志望専門分野）用】、【上代（志望専門分野以外）用】に分かれています。

机の上に置いて良いもの

- 受験票
- 筆記用具
- 時計（時間を計る以外の機能が付いたものは不可）

※これらのもの以外はカバンの中に入れ、床に置いてください。眼鏡、薬、ハンカチ等を机の上に置くことを希望する場合は、監督者に申し出て下さい。

人文社会科学研究科 日本語日本文学専攻 一般選抜入試問題【日本語学基礎】

[I] 下記の(1)～(3)の3つのテーマから2つ選んで論述せよ。解答用紙には選んだテーマの番号を明記すること。

(1) いわゆる「学校文法」は、「形式重視で意味を軽視している」と批判されることがある。この指摘について、具体例を挙げながら、自身の考えを述べよ。

(2) 現代日本語における敬語の分類について、具体例を挙げて説明せよ。

(3) 日本語の語種の分類について、複数の具体例を挙げながら説明せよ。

〔一〕次にあげる中古文学作品から二作品を選び、作品概要（作者などの基礎的情報を含めてよい）とその作品の日本文学史における意義を説明せよ。（解答用紙の所定の欄に選んだ作品の名前を記すこと）

『古今和歌集』・『竹取物語』・『伊勢物語』・『枕草子』・『源氏物語』

『土佐日記』・『蜻蛉日記』・『和泉式部日記』・『紫式部日記』・『更級日記』

〔二〕平安時代に成立した文学作品を一つ取り上げ、現代においてどのような享受がなされているか、具体例（複数可）を示した上で説明せよ。（享受の例は、単に古本文の受容のみならず様々な享受形態を取り上げてよい）

〔二〕次にあげる『万葉集』の和歌から二首を選び、現代語訳せよ。  
(解答用紙の所定の欄に選んだ和歌の記号を記すこと)

- ア 田子の浦ゆうち出でて見れば真白にそ富士の高嶺に雪は降りける(山部赤人)
- イ 憶良らは今は罷らむ子泣くらむそれその母も我を待つらむそ(山上憶良)
- ウ 君待つと我が恋ひ居れば我が屋戸のすだれ動かし秋の風吹く(額田王)
- エ 多摩川にさらす手作りさらさら何そこの児のここだかなしき(東歌)
- オ 防人に行くは誰が背と問ふ人を見るがともしさ物思ひもせず(防人歌)

(出典：新編日本古典文学全集『万葉集』1、同3、同4(一九九四～一九九六年、小学館)により、一部表記を改めた)

〔三〕次の①②のうち、どちらか一問を選択し、解答せよ。

(解答用紙の所定の欄に①か②を記すこと)

①次にあげる上代文学作品から一作品を選び、作品概要(作者などの基礎的情報を含めてよい)とその作品の日本文学史における意義を説明せよ。(解答用紙の所定の欄に選んだ作品の名前を記すこと)

『古事記』・『日本書紀』・『万葉集』

②中学校や高校の国語教材として、『万葉集』の和歌が採用されているが、国語教育のなかで『万葉集』の和歌を学ぶ意義を説明せよ。